

学校教育目標	校訓「心身の健康」「創造的なとりくみ」「誠実な態度」 ～生命・自然を畏敬し、地域社会の中で人とともに成長する生徒を育てます～				
	【知】自ら学び自ら考える生徒 【徳】自らを律し行動する生徒 【体】情操豊かで心身ともに健康な生徒 【公】他者を愛し地域社会に貢献する生徒 【開】多様性を尊重し多角的に物事を判断する生徒				
学校概要	創立 38 周年	学校長	川村 雅昭	副校長	金澤 昌浩
	児童生徒数: 406 人	主な関係校: いずみ野中ブロック小学校: いずみ野小・新橋小・阿久和小)			

教育課程全体で育成を目指す資質・能力	中ブロック	小中一貫教育推進ブロックにおける「9年間で育てる子ども像」と具体的取組
○自ら学び、考え、行動する力 ○自尊感情を高め、自信を持って生きていく力 ○心身共に健康で、たくましく生きる力 ○多様性を尊重し、進んで人と関われる力	いずみ野中学校 阿久和小学校 いずみ野小学校 新橋小学校	『夢の実現に向かって』 ◎学びの目標の実現に向かって、挑戦し続ける子ども◎自他の違いを認め、進んで人とかかわれる子ども◎自尊感情を高め、自信をもって生きていく子ども 小小・小中での授業研究や職員間の交流を通して、①9年間で育てる児童生徒一人ひとりの理解や情報交換の充実 ②各教科における授業のつながりを意識した指導内容の充実 を図り、繋がりのある小中一貫教育の推進を行う。

中期取組目標	○チームいずみ野として、生徒・職員共に一人ひとりを大切にすることを目指します。 ・個に応じた指導を充実すると共に、わかる授業の実践を目指します。 ・一人ひとりが自己有用感をもち、自他を認め、安心で楽しい学校生活を目指します。 ・基本的な生活習慣を身に付け、健康な心身を常に心掛ける生徒を育成します。 ・コミュニケーションを大切にし、多様性を認め、自ら行動できる生徒を育成します。 ・キャリア教育を充実させ、地域社会に貢献出来る力を育てます。
---------------	---

重点取組分野	具体的取組
生きてはたらく知	①「わかる授業」を目指して基礎・基本の充実を図り、生徒が主体的に取り組む授業研究、研究授業を行う。②アクティブラーニングやグループワークを積極的に取り入れ、コミュニケーション力を高める指導法の工夫をする。
担当 学習指導部	
豊かな心	①日常生活を通して道徳的な思考力・判断力・表現力を育てるために道徳の授業を中心に、語り合いや事後の振り返りを行う活動に重点を置く。②コミュニケーション力を高め円満な人間関係を築かせると共に、自己有用感を高めるための、学校行事や様々な体験活動の内容を工夫する。
担当 学習指導部・特活指導部	
健やかな体	①調査の結果を通して自分自身の体力を知り、自分の体力向上のためにやるべき目標を定め、授業や日常生活の中で日々実践する②毎朝、行事前の健康観察等を通し、生徒自身が自分の健康に目を向け、考えられるようにする。
担当 保健指導部・体育科	
児童生徒理解	①生徒指導上の共通理解を深めるため、研修会を定期的に行う。 ②教育相談や職員会議、学年会を活用し、チームとして生徒の支援を行う。
担当 生徒指導部	
公共心と社会参画	①職業調べや職業講話を通して、働くことや職業に対して考える姿勢を育む。②職場体験では学習計画に沿って、充実した取組を行う態度を養うと共に地域に根付いた事業所選びを行い、地域とのつながりを強める。
担当 特活指導部・学習指導部	
未来を開く志	①職場体験や職業講話などの職業に対する学習を深め、将来の夢や希望を考える姿勢を育む。②PTAや地域とのつながりを強め、地域と共に歩み成長する志を育成する。
担当 教育課程委員会・教務部	
人権教育	①職員向け人権研修や生徒向け人権講演会などを通して、自己肯定感を高められるように働きかける。②「いずみ野中学校人権宣言」にもある、互いに思い合い、信頼できる仲間関係づくりを築けるよう、「互いに思い合う仲間関係を築くアンケート」を始めとした取組を引き続き行う。
担当 人権教育推進委員会	
特別支援教育	①個々の特性に応じた効果的な支援を職員に共通理解を図る。 ②別室の支援環境をさらに整えるとともに、不登校生徒の教室復帰を段階的に進めていく。 ③さまざまな発達障害の研修を行い、職員の意識向上をはかる。
担当 特別支援教育委員会	
いじめへの対応	①年2回の生徒向けアンケートの実施、年3回の教育相談や日々の生徒とのかかわりから、早期発見・早期対応に取り組む。②朝の打ち合わせを利用し、情報共有をはかる。 ③生徒向け、いじめに関する理解学習を行う。
担当 いじめ防止委員会	
人材育成・組織運営(働き方改革)	①OJT、学年会、職員会の研修機能の有効活用し、教職員が専門職としての意識・技能の向上を図る。 ②キャリアステージに応じた今年度の具体的目標を設定とその振り返りを行い、キャリアの向上を図る。 ③学年連絡会を組織強化させ、学校運営をより安定したものとする。 ④各分掌組織で削減、簡略化できる業務をさらに精選し、業務改善を行う。
担当 副校長・メンターチーム	